こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟県新潟市秋葉区小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

新春特別企画 巳年あなたは…!!

～年男・年女に聞きました～

新年、明けましておめでとうございます。さて、今回は巳年生まれの十二歳から九十六歳までの各世代の方から、三つの共通した質問に答えていただきました。みなさんも、輝かしい新年を迎え、一緒に考えてみませんか。質問の内容は次のとおりです。

Q1 あなたの生きがいは（好きなこと、張り合いにしていること等）なんですか。

Q2 あなたの夢は、なんですか。

Q3 あなたにとって、公民館はどんな存在ですか。

将来の夢はプロ野球選手

【平成13年生まれ】
吉田 俊介さん（12歳）（舟戸）

A1 スポーツをすること。

A2 プロ野球選手。

A3 本を読んだり、読み聞かせを聞く所。

今の仕事に誇りを持ちたい

【平成元年生まれ】
木村 有希さん（24歳）（水田）

A1 今までに出会った友達と語り合うこと。

A2 今の仕事に誇りを持ち、人生において携わっていくこと。

A3 私にとっては、受験勉強に励んだ集中できる場所。また、開放的な憩いの場。

家族で行くキャンプが楽しみ

【昭和52年生まれ】
佐藤 里香さん（36歳）（矢代田）

A1 昨年から家族で行き始めたキャンプを今年も楽しみにしていること。

A2 これからもずっと家族が仲良くいられること。

A3 催し物やイベントを通しての世代・地域交流の場。

家族との時間を張り合いに

【昭和40年生まれ】
山口 能行さん（48歳）（小須戸）

A1 家族といっしょにいる時間。

A2 店舗の新築。

A3 地域活性の場。世代交流の場。

京都のお寺を巡るのが夢

【昭和28年生まれ】
板谷 保昭さん（60歳）（鎌倉）

A1 夏、ウッドデッキでお昼にビールを飲むことかな。

A2 京都のお寺をのんびりと巡りたい。

A3 地域の交流の場。

好きな曲でリラックス

【昭和16年生まれ】
粟森 明子さん（72歳）（横川浜）

A1 好きなアーティストのCDを聴くことです。お気に入りの曲は、ゆずの「栄光の架け橋」です。

A2 二階建の家に住みたい。理由は水害が心配のため。

A3 イベントやいろいろな趣味の集まりがあり楽しい場所。いつでも行く気になれば行けるところ。

生きがいは地域でボランティア

【昭和4年生まれ】
佐藤 二三雄さん（84歳）（小須戸）

A1 地域の福祉会でボランティアをしています。運営上の問題について提言・助言をしていますが、少しでも福祉施策向上に貢献できれば幸いと思っています。

A2 月並みですが、家族一同ずっと健康で過ごしたいものです。

A3 地域交流の中心施設。

自分のことは自分でしています

【大正6年生まれ】
新井田 フミさん（96歳）（矢代田）

A1 91歳までゲートボールをしました。（今は）ご飯を食べることが楽しみらこてね。

A2 （健康に気を付けていること？の質問に）体力が落ちないように家の中で歩き回っています。

A3 倉の相田（節峯）さんから民謡の唄を習っていました。その時は、まだエレベーターはありませんでした。

※「（11月に公民館で開催された）市民展に緑花園の職員の方から車いすで連れて行ってもらいました」とも話されました。

参加者募集!! 川柳を作ってみませんか

小須戸川柳会では川柳講座を左記の要項で開催いたします。初めての方もこの機会にぜひ参加して下さい。

開催日 二月十三日（水）
三月十三日（水）
午後七時～九時

会場 小須戸地区公民館（二階・学習室）

参加費 資料代として二百円。
＊開催日に持参して下さい。

講師 小須戸川柳会

問合せ ☎38-2014能登
※申し込みは二月六日まで公民館へ☎38-2234

「にいがた市民文学（第十五号）」入賞者紹介

川柳 一般の部《佳作》――

「こころ」
能登 としお さん（小須戸）

子育ての悔いが残っている机
頂いた両手痴呆の母を抱く
正直に生きて心につける傷

コメント「佳作に入って」
趣味をより楽しくするためには、花には水を遣ったり、陽にあてたり、多少の努力が必要と思います。
その中で読んで下さる人に共感できる笑いやペーソスが川柳の味だと思っています。

ちょこっと一言

「今年こそは」

運動会を盛り上げる種目といえば、リレーですよね。

我が家では盛り上がりたくないリレーが、たまに大はやりします。運が悪いとバトンを渡されてしまうっていう、あれなんですが、さて何のリレーだと思いますか？ヒント1、まずは子供たちが暴走してきます。ヒント2、不本意ながらお母さんにも高確率で渡されてしまいます。ヒント3、場合によっては友達にも渡してしまいます。

畑中 正恵さん（松ヶ丘）

答えは・・・・病気のリレーでした。昨年は色々なバトンが渡りました。インフルエンザ、おたふく風邪、溶連菌、手足口病、プール熱、最近巷で流行のノロウイルス。そして、アンカーの大人の番になると（菌が）大盛り上がりしてしまう様ですね。

さてさて今年は何バトンが回ってくるかな？じゃなくて、病気にならないよう、怪我をしないよう、ひいては運動会で活躍できるよう、今年こそは家族で体力作りに励みたいと思います。

「冬でも、みかんが豊作」高野 信義さん 横川浜（大年）

催し物ご案内

◎懐かしのレトロ映画ポスター展
会期 1月5日(土)－2月24日(日)までの土・日・祝日。なお、1月末に展示入れ替え有。
開館 10時～18時
会場 町家ギャラリー 薩摩屋 秋葉区小須戸3394(小須戸商工会館向かい)
展示内容 ゴジラ、宇宙戦艦ヤマト、007、七人の侍、STAR WARS ほか。

参加者募集!! 早春の珍スポーツ大会 新潟県ボケ1スリッパ卓球大会 ～卓球を初めてされる方、大歓迎～

老若男女どなたでも、経験がある無しにかかわらず、すぐにゲームが楽しめます。

日時　三月十日（日）
時間　午前八時四十五分に受付開始
午前九時半に競技開始
会場　小須戸体育館（横川浜）
対象　小学生以上
競技種目
◎個人Aクラス…女性には各1セット3点のハンディ有り
卓球の各種大会に参加している方
◎個人Bクラス…男子の部・女子の部
小学五年生以上から一般で、卓球の大会に出ていない方
◎個人Cクラス…小学一年生から四年生までの方
◎個人愛好者クラス…六十五歳以上の方。又は、今まで一回もスリッパ卓球で勝ったことが無い超初心者の方
◎パフォーマンスの部…仮装や爆笑プレーで競います。
◎混合ダブルスAクラス（女子ペアでの参加も可）
男女ともに卓球の各種大会に参加している方
◎混合ダブルスBクラス（女子ペアでの参加も可）
男女ともに卓球の大会に出ていない方
◎親子でラリー…回数ではなくラリーの長さを競う競技
子どもは小学生のこと。祖父母と孫のペアでも可。
持ち物　飲み物、内履き、タオル、昼食など
参加費　大人も小学生も三百円（大会当日、納入のこと）
※何種目に出場しても、参加費は同額です。
申込み・問合せ先
小須戸地区公民館☎38－2234
申込み期限　二月二十五日（月）
※特製ラケットは主催者側で用意（無料）します。

第15回「にいがたマンガ大賞」入賞作品の紹介

コミックイラスト部門　優秀作品賞

小池　野愛（のあ）さん（小須戸小学校四年生）

「賞をとれるとは思っていなかったので、とてもうれしかったです。」

作品タイトル「Fuura（フウラ）-自然を愛する少女-」

「にいがたマンガ大賞」とは

マンガを描く楽しさと素晴らしさを新潟から全国に発信しようと開催している「にいがたマンガ大賞」。

15回目を迎えた今回は、全国から314点の力作が寄せられました。

１次審査は本市出身のマンガ家ら、２次審査は有名雑誌編集者19人が行い、最終審査を『パタリロ！』でおなじみのマンガ家・魔夜峰央（みねお）先生（新潟市出身）が行いました。

特別展示

◎小池　野愛（のあ）イラスト原画展
純粋な湧き上がる感性をご覧下さい。
会期　現在、開催中～一月末日まで
会場　小須戸地区公民館（一階・ロビー）
あわせて、一月のロビー展（俳句と川柳）も展示してあります。

コミュニティーコーディネーター育成事業 あったかサポート養成講座　受講者募集！

◆「あったかサポート（コミュニティコーディネーター）」って何？
少子高齢化社会が進むにつれて、市民力を生かした地域づくりがさらに必要になってきます。
誰もが安心して楽しめる居場所（地域の茶の間）づくりについて一緒に学びましょう！

回	日時	内容	講師
1	1／24（木）14:00～16:00	『私たちの地域について考えてみませんか』『地域の茶の間について』	秋葉区地域課、秋葉区社会福祉協議会、秋葉区健康福祉課
2	2／6（水）14:00～16:00	『地域の茶の間「うちの実家」創始者からのお話と意見交換』	河田珪子（かわだけいこ）さん 地域の茶の間「うちの実家」創始者
3	2／20（水）11:00～13:00	『地域の茶の間を訪ねて』（模擬体験）※10:00公民館前集合　14:00公民館前解散	河田珪子（かわだけいこ）さん 地域の茶の間「うちの実家」創始者
4	2／26（火）14:00～16:00	『人と人をどう繋いでいったらよいか』・あったかネットワーク」の取り組みや引きこもり解消などのお話。・地域包括支援センターの取り組み。	秋葉区社会福祉協議会 地域包括支援センターこすど
5	3／6（水）14:00～16:00	『みんなで～明日の茶の間～について考えてみましょう』・今回の講座を受講して感じたことなど。	河田珪子（かわだけいこ）さん 地域の茶の間「うちの実家」創始者

会場　小須戸地区公民館〔３階ホール〕
＊ただし３回目は東区「うちの実家」（公民館集合後、バスで移動します）
対象　どなたでも
参加費　600円（３回目の「うちの実家」参加費と食事代）
申込み　小須戸地区公民館　☎0250－38－2234
主催　新津地区公民館、小須戸地区公民館
共催　秋葉区社会福祉協議会、包括支援センターこすど、小須戸小学校区コミュニティ協議会、山の手コミュニティ協議会、秋葉区（地域課、健康福祉課）

※第３回目の模擬体験は会場やバスの都合から、定員40人とさせていただきます。40人を超えた場合は調整をさせて頂きますので、あらかじめご了承願います。
※１、２、４、５回は40人以上でも参加可能です。

新津税務署「平成二十四年度納税表彰式」小須戸中学生が税に関する「作文」・「標語」で各賞を受賞

「税に関すること」をテーマに中学生から募った作文・標語の中から、優秀な入選作品に対して表彰する「平成二十四年度納税表彰式」が十一月十五日（木）、新津地域交流センターにおいて新津税務署並びに新津税務署管内税務協力団体協議会の主催により開催され、賞状と記念品が贈られました。

これは、十一月十一日から十七日の「税を考える週間」に伴い募集されたもので、次代を担う中学生に税についての関心を深めてもらうため、毎年実施しているものです。新津税務署管内の中学校から、作文は五校・三八四編、標語は十三校・二六五二点の応募があり、その中より小須戸中学校からは、次の三名の生徒が各賞を受賞しました。

中学生の《税についての作文》

新潟地域振興局長賞
「税について」
小須戸中学校　一年　内山莉緒（りお）さん

小須戸商工会長賞
「税がつくる私達の暮らし」
小須戸中学校　一年　長澤悠果（ゆうか）さん

中学生の《税に関する標語》

小須戸商工会長賞
「税金で　みんなの暮らし　守ろうよ」
小須戸中学校　一年　古木雄大（ゆうだい）さん

注目イベント情報

◎ほうかごコンサート
日時　一月二十一日（月）午後三時半～
会場　小須戸小学校（プレイルーム）
演奏　梅津幹子（みきこ）さん（ピアノ）

先月号「この絵、知ってますか?」のいきさつ紹介

公民館報十二月号の紙上で、懐かしい「おむすびころりん」の絵を見てびっくりしました。

特殊学級を受け持って七年目、同じ苦労をするならふる里の子供たちと。と思って小須戸小学校に転任しました。

一日一時間「作業」の時間に子供たちと一緒に作りました。将来りっぱな社会人になるために、手先の器用さ、根気強さ、仲間作りなどを目あてに、メリヤス布を小さく切って、一枚ずつ張り合わせていきました。色々な話をしながら、それはそれは楽しいひと時でした。

出来あがった作品は文化祭に出品し、その後図書室や運動場に展示しておきました。

あれから四十年。子供たちはりっぱな社会人に成長しました。目的は十二分に達成されました。喜んでお別れしたいと思います。

長い間大切にして下さって本当にありがとうございました。

元小学校教諭　馬場　綾子（小須戸）

シリーズ「今、子どもたちは」(192)

「生きる力を育もう！」　小須戸保育園

小須戸保育園では、様々な素材を使って、子ども達が自由に、思い思いの発想で、製作を楽しむ姿が多く見られます。

手づくり冒険グッズを持って、探険に出かけよう!!

探険ごっこと称して、リュックや望遠鏡、帽子や宝の地図など、イメージするものを大人には出来ない発想で作り出し、それらを使って生き生きと遊ぶ年長児の姿に、他の年令の子ども達も刺激を受け意欲、創造力の芽が芽生えてきているようです。大人も大いに刺激を受けています。

又、「カプラ」という木製の造形玩具で、友だち同士協力し合いながら、ひとつの大作を完成させて大歓声が沸き上がることも。年令の枠を越えて、つながりが生まれます。

この様に、様々な素材に触れたり、友だち同士かかわりながら遊び込むことで、日々生きる力を育んでいる、小須戸保育園の子ども達です。

みんなで協力してカプラで作った「大作」の前でハイ！ポーズ!!

文芸欄

俳句

あちこちに轍（わだち）ありしや山眠る　須藤恵美子
身の丈（たけ）の一寸縮んで冬に入（い）る　風間幸子
ひと文字がひとつの仏（ほとけ）おらが春　馬場綾子
白萩（しらはぎ）のゆたかに垂（た）るる寺院かな　丸山草雨
土手下の桜紅葉（さくらもみじ）の市日和　五十嵐香月
花の湯にバスの乗り入れ着ぶくれて　熊倉ひろむ
山眠（やまねむ）る越後三山（えちごさんざん）峰はるか　井本マツ子
恙（つつ）がなく暮れて夕餉（ゆうげ）の秋刀魚（さんま）焼く　渡辺信子

川柳〈時雨〉

時雨空大根干しを急さたてる　能登としお
傘忘れ相乗りしてる秋しぐれ　増井都留
時雨月老いの仕事と障子貼る　保科志枝
老いひとり涙しぐれる秋の夜　会田修

お知らせ

◎本年より、小須戸出張所での確定申告及び市・県民税の申告会場開設を行いません。
秋葉区役所６階申告会場で申告を行ってください。
詳しくは、「あきは区役所だより」１月６日号をご覧ください。
お問い合わせ先　秋葉税務センター（☎25-5311）

◎「体験!!ニュースポーツ入門」
スリッパ卓球の体験ができます。冬場の運動不足解消にもなります。（単発の参加も可）
開催日時　1／29（火）、2／5（火）、2／19（火）、3／5（火）　午後7時30分～9時
会場　小須戸体育館　**持ち物**　内履き、飲み物、タオル　**申込み**　不要。直接、会場へ。　**主催**　小須戸地区公民館